



もんま たくみ 議員
門馬 巧 議員

割愛人事

メリット・デメリットは

町長／メリットが大きい

門馬：割愛人事は、優秀な人材を他の機関等から転籍してもらった上で採用すること、今でも公務員や大学教員に行われていることとされていますが、メリット・デメリットを伺います。

町長：受ける側にとっては組織上足りない職種の人員を補充することとなり、割愛採用される職員にとっては、退職金等は前職から通算されること、これまでと違った貴重な経験を積めることとなり、

職員の人材交流による相互間において職員のスキル向上が図られ相乗効果が見込まれることからメリットが大きいと考えています。

門馬：他の職員の士気の影響はありませんか。
町長：在籍の職員にとってはは頼もしく、様々に異なる団体からの職員を迎え入れることで、互いに学び合う職務体制となり、対応能力の向上、職場の活性化につながっています。
門馬：本人に対する処

ゼロカーボン

EV車普及に向け補助を

町長／検討し確実に取り組む

門馬：国内自動車メーカー2社が国・自治体の補助金合わせて100万円前半で買えるEV車を今夏発売と発表したとの新聞報道がありました。
町民に普及すれば、ゼロカーボンシティに具体的に一步踏み出すと考えます。
国の補助政策に呼応し、町でも国の補助金の2割くらいの補助制

度を設けることはできませんか。
町長：町が進めるゼロカーボンへ向けての取り組みは、2030年までの短期的な目標と2050年までの中長期的な目標を掲げています。
次世代型自動車の普及については、今後10年の短期的目標としており、町の補助制度を創設するにあたって、



EV車充電設備

医療費等減免

東電負担で減免継続を

町長／生活再建念頭に組み込む

畑中：来年度以降、医療費・介護保険の減免が見直しになることは、町民にとって重大な問題です。
放射線被ばくの危険性が11年経ったから無くなるわけではありません。
健康診断や医療等にかかる費用を無償化することは国の責任であり、医療や介護の費用の無償化を東京電力の費用負担で行わせるよう国に要求すべきではありませんか。

町長：国は、原子力被災地域における医療・介護保険料等減免措置の見直しを決定し、避難指示解除の状況も踏まえ、適切な周知期間を設け、激変緩和措置を講じ、複数年かけて段階的に見直しを行い、滞納対策支援を含め検討する内容となりました。
今後においても、生活再建を念頭に要望活動に取り組んでいきます。

避難者訴訟

原告と同等の賠償を求めよ

町長／要望に取り組みよう

畑中：3つの福島原発避難者訴訟で、3月2日に東京電力の上告が退けられ、原告に対する賠償額が決定しました。
原告の一人である双葉町長から、避難自治体12市町村の住民に同等の賠償を支払うことを東京電力に対して要求することなど、町に對して働きかけはありましたか。

町長：集団訴訟の最高裁判決において従来の基準を上回る東京電力の賠償責任が確定したことを受け、原子力損害賠償紛争審査会による中間指針の基準の比較・分析を行い、被災者間で不公平が生じないよう適切に対応すること、個別具体的な事情による損害についても誠意をもって対応すること、すべての被害者が賠償請求の機会を失う事の無いよう消滅時効を援用せず最後まで賠償を行うことを、

中間報告をまとめるとの回答がありました。
東京電力ホールディングス(株)からは、最高裁判所の判決確定を重く受け止め、原子力損害賠償紛争審査会から新たな指針が示されれば真摯に従うとの回答がありました。
文部科学省において、中間報告の取りまとめをされることについて、動向を注視して対応していきます。

町長…令和3年3月に町並びに第4行政区長同席のもと、県に対し地元調整・同意についての緊急要望を行いました。同年9月には、県から求められた採石法に基づく採取計画の認可協議に対する意見書においても、地元調整・同意を得ることと回答しています。町は常に住民に寄り添い、公正に行政事務を執行しています。



はたなか ひろこ 議員
畑中 大子 議員

採石場

住民の声を聴いているか

町長／住民に寄り添い公正に対応

畑中…福島県企業立地課長から第4行政区長宛に、採石法に基づく採取計画の認可についての文書が届いたとのことでしたが、事業者の計画に反対の意見が多数出ており、県は跡地処理に関する規定だけを認可の根拠としていると私は考えますが、町は住民の声を聴こうとしていますか。